

2022/5/22(日) オンライン開催  
生活科学系コンソーシアム主催 第11回シンポジウム  
With/Postコロナ社会と人の生活  
—生活科学からみた課題と取組—

**日本家庭科教育学会**  
The Japan Association of Home Economics Education

**With/Postコロナ社会における  
家庭科教育の役割**

日本家庭科教育学会 理事  
山梨大学大学院総合研究部教育学域  
**志村 結美**

1

**日本家庭科教育学会**  
The Japan Association of Home Economics Education

**日本家庭科教育学会の概要**

【設立】昭和33年6月  
【目的】家庭科教育に関する研究を増強し、併せて会員相互の親睦、向上、連絡をはかることを目的とする。  
【会員数】(2021年7月15日現在)  
正会員 765名 / 学生会員 54名 / 海外会員 1名 / 賛助会員 14団体  
【大会・例会】毎年、大会1回、例会1回を開催  
・家庭科教育に関する研究発表  
・共同研究にもとづくシンポジウムや講演などの開催

2

**日本家庭科教育学会**  
The Japan Association of Home Economics Education

**日本家庭科教育学会の研究活動の概要**

【課題研究】第1期(2008-2010)～現在第5期(2021-2022)

| 5期     | 2 | テーマ  | SDGs時代の家庭科教育 | 期 | テーマ   |
|--------|---|--|--------------|---|---|
| テーマ1   | 2 | 一人取り残さないジェンダー平等の家庭科教育                                |              | 2 | 1.自立する力を育てる家庭科授業用プログラムの開発<br>2.ESDとしての家庭科教育の可能性と役割      |
| テーマ2-1 |   | 食分野における実践的・体験的な学習活動を生かしSDGsを目指す家庭科教育の理論および調査・実証研究    |              | 3 | 1.グローバル化と家庭科<br>2.貧困と向き合う家庭科                            |
| テーマ2-2 |   | 衣・住・消費と環境の実践的・体験的な学習活動を生かしSDGsを目指す家庭科教育の理論および調査・実証研究 |              | 4 | 1.家庭科の学力(資力・能力)の育成状況に関する調査・実証研究<br>2.家庭科教員養成に関する調査・実証研究 |
| テーマ3   |   | SDGsを目指す家庭科教員養成に関する調査・実証研究                           |              |   |   |

【特別研究】特別研究委員会「家庭科未来プロジェクト」(2015)  
「家庭生活に関わる意識や高等学校家庭科に関する全国調査」  
【セミナー】学会員の授業研究や授業分析にかかわる研修の機会 毎年3月下旬開催  
【国際学会での発表】IFHE(国際家政学会)(2012)、IFHE理事会(2014)で学会の課題研究の結果と成果等を発表、ベストポスター賞受賞(2014)  
2022年IFHEにおいて「Japanese Home Economics Education and SDGs」を発表予定

3

**日本家庭科教育学会**  
The Japan Association of Home Economics Education

**Withコロナ社会での日本家庭科教育学会の活動**

◆大会(夏6・7月開催)・例会(冬11・12月開催)

○2020年度大会(12月例会時、オンライン開催) 研究発表、第4期課題研究報告  
○2021年度大会(7月、オンライン開催) 総会、研究発表、シンポジウム、ラウンドテーブル  
・シンポジウムテーマ「家庭科温故知新～SDGsを通して考える未来につなぐ家庭科教育」  
・ラウンドテーブルテーマ「家庭科におけるSDGsの視点を踏まえた授業づくり」  
○2021年度例会(12月オンライン開催) シンポジウム  
・シンポジウムテーマ「ジェンダー視点で考える家庭科教育の現在とこれから」  
○2022年度大会(7月1日～3日、オンライン開催)  
総会、研究発表、シンポジウム、ラウンドテーブル、課題研究中間報告会  
・シンポジウムテーマ「ジェンダーの視点から考える家庭科教育の可能性  
多様なジェンダーアプローチ・実践からの示唆」  
・ラウンドテーブルテーマ「キャッシュレス時代を生き抜く子どもの育成」

4

**日本家庭科教育学会**  
The Japan Association of Home Economics Education

**Withコロナ社会での日本家庭科教育学会の活動**

◆学会HPに家庭科学習支援サイトの立ち上げ  
2020年3月～学校教育の臨時休校措置に伴い、学会として、よりよい生活のヒントになる調べ学習や実践に役立つサイトをまとめ、「学校休校期間における学習支援サイト・家庭科」をホームページに掲載した。現在、「家庭科学習支援サイト」とページを設けている。  
■内容(リンク先)  
・NHK for school 教育テレビ高校講座「家庭総合」  
・教科書会社・関連企業・関連団体の紹介  
・小・中・高等学校の授業実践、大学の研究の紹介(ex. マスクづくりの動画等)  
◆授業研究・実践ページ 学会誌の「授業実践のひろば」に掲載された実践報告  
・授業での教員の意図や教材、働きかけ・学習のプロセス・学習の深まりや広がり様子・学習者の変容



5

**日本家庭科教育学会**  
The Japan Association of Home Economics Education

**Withコロナ社会での日本家庭科教育学会の活動**

◆Zoom対談シリーズの実施 4回実施 2021年3月～6月  
コロナ禍で学会のメイン大会が開催できなかったことに鑑み、学会会員への家庭科を考える場の提供を目的に実施された。前会長(赤塚朋子氏)と対談後、フロアを交えて、家庭科について語り合う場を企画を設定  
◇第1回 2021年 3月6日(土) 「世界の中の日本の家庭科」  
【対談者】工藤由貴子氏(IFHE前副会長、ARAHE副会長・編集委員長)  
◇第2回 2021年4月3日(土) 若手研究者に向けて「家庭科教育研究で大事にしていること」  
【対談者】佐藤裕紀子氏(今年度の学会賞受賞者)  
◇第3回 2021年5月1日(土) 「地区活動40年から学ぶ」  
【対談者】福井典代氏(四国地区会代表者)  
◇第4回 2021年6月5日(土) 「18歳成年に向けた両学会の連携について」  
【対談者】東 珠実氏(日本消費者教育学会会長)

6

日本家庭科教育学会  
The Japan Association of Home Economics Education

### With/Postコロナ社会における教育の現状と課題

◆教員不足 文部科学省「教師不足に関する実態調査」(R4.1)

(1)「教師不足の状況(5月)の概況」

| 学年     | 学校に配置されている教師数(A) | 不足数(C)  | 不足率(C/B) | 学校の総数(B) | 教師不足が心配している学校数(E) | 割合(E/D) |
|--------|------------------|---------|----------|----------|-------------------|---------|
| 小学校    | 279,599          | 280,199 | 99%      | 18,691   | 794               | 4.2%    |
| 中学校    | 219,504          | 219,123 | 99%      | 9,204    | 556               | 6.0%    |
| 小中学校合計 | 599,102          | 599,321 | 1,00%    | 28,115   | 1,350             | 4.8%    |
| 義務教育学校 | 159,688          | 159,837 | 100%     | 3,502    | 121               | 3.5%    |
| 特別支援学校 | 78,474           | 78,632  | 100%     | 1,686    | 120               | 7.1%    |
| 合計     | 836,264          | 837,795 | 100%     | 32,993   | 1,997             | 6.1%    |

教員不足とは:臨時の任用教員等の確保ができず、学校へ配置する教師の数に欠員が生じている状態  
 □中学校の教科担任不足の状況 数学1 理科1 音楽2 美術2 技術1 家庭 8 合計16  
 □高等学校の教科担任不足の状況 国語1 理科1 保健体育1 家庭2 合計5  
 □臨時の任用教員 学級担任のうち、小・中学校で4万1000人(1割を占める)  
 ◆教員不足の理由  
 ○育児休業の取得 ○病気による休職 ○特別支援学級の増加などが想定上回った など  
 ○臨時の任用教員のなり手不足 ○大量退職時代 ○少人数学級の設置

7

日本家庭科教育学会  
The Japan Association of Home Economics Education

### With/Postコロナ社会における教育の現状と課題

◆教員不足への対応

特別免許制度の活用 緊急通知 (2022.4)

◆特別免許状:教員免許状を持っていないが優れた知識経験等を有する社会人等を教員として迎入れることにより、学校教育の多様化への対応や、その活性化を図るため、授与権者(都道府県教育委員会)の行う教育職員検定により学校種及び教科ごとに授与する「教諭」の免許状(昭和63年創設)

◆臨時免許状:普通免許状を有する者を採用できない場合に限り、例外的に授与する「助教諭」の免許状(有効期限3年)

◆免許外教科担任制度:免許法附則第2項に定める免許外教科担任制度は、とりうる手段を尽くしてもある教科の免許状を保有する中学校、高等学校等の教員が採用できない場合の例外として、1年以内の期間を限り、都道府県教育委員会の許可により、当該教科の免許状を有しない教員が当該教科の教授を担当するものである。

免許外教科担任制度の在り方に関する調査研究協力者会議(H30)

| 学年      | 1. 中学校 |     |     | 2. 高等学校 |     |     |
|---------|--------|-----|-----|---------|-----|-----|
|         | 担任     | 担任率 | 割合  | 担任      | 担任率 | 割合  |
| 合計      | 211    | 271 | 29% | 25      | 102 | 10% |
| 特別免許状   | 108    | 139 | 15% | 15      | 59  | 6%  |
| 臨時免許状   | 103    | 132 | 14% | 10      | 43  | 4%  |
| 普通免許状   | 0      | 0   | 0%  | 0       | 0   | 0%  |
| 免許外教科担任 | 0      | 0   | 0%  | 0       | 0   | 0%  |
| 合計      | 211    | 271 | 29% | 25      | 102 | 10% |

◆有資格者の割合と担教科  
 【中学校】  
 担任: 211名 担任率: 271名  
 特別免許状: 108名 割合: 51%  
 臨時免許状: 103名 割合: 49%  
 普通免許状: 0名 割合: 0%  
 免許外教科担任: 0名 割合: 0%  
 【高等学校】  
 担任: 25名 担任率: 102名  
 特別免許状: 15名 割合: 60%  
 臨時免許状: 10名 割合: 40%  
 普通免許状: 0名 割合: 0%  
 免許外教科担任: 0名 割合: 0%

◆日本技術家庭科研究会全国調査 (H20)  
 免許外・臨時免許状のみの学校率 技術 17.9%  
 家庭 19.0%

8

日本家庭科教育学会  
The Japan Association of Home Economics Education

### With/Postコロナ社会における教育の現状と課題

◆中学校家庭科における臨時免許教員や免許外教員の実態

「中学校において家庭科を担当している臨時免許状教員の実態と実態—普通免許状保有教員との比較から—」  
 日景弥生、青木香保里、志村結美 日本家庭科教育学会誌 第60巻第3号 (2017, 10)

- ・臨時免許教員の割合の増加傾向
- ・家庭科の知識や技能の自信ない、授業の進め方に自信がない
- ・教材研究に充てる時間が少ない(他教科も担当しているため)
- ・研修会・講習会への参加が難しい 研修を実施している県あり
- ・生徒につけて欲しい力 課題解決能力
- ・臨時免許教員の認識<免許保有教員の認識
- ・保有教員にも課題あり | 校1人体制による若手教員への指導教員の不足

9

日本家庭科教育学会  
The Japan Association of Home Economics Education

### With/Postコロナ社会における教育の現状と課題

■子どもの現状 東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所 共同研究プロジェクト「子どもの生活と学びに関する親子調査 2019-2021」結果速報より(2019年、2020年、2021年比較)(小学生~高校生)

3年間で「勉強する気持ちがわからない」が半数以上に学習意欲は低下傾向~「学習方法の理解」や「授業の楽しさ」が意欲向上のカギ~

1. 学習意欲の低下傾向 「勉強しようという気持ちがわからない」が増加(「あてはまる」が半数を超える(参照図1))

2. 3年間で学習意欲が向上した子は11.2%、低下した子は25.8%(参照図2)

■図2 学習意欲の変化(個人の変化)

変化なし: 63.0%

2019年→21年の変化: 意欲向上: 31.8% 意欲低下: 25.8% 意欲保ち: 31.2%

■図1 学習意欲の変化(2019年、2020年、2021年比較)

勉強しようという気持ちがわからない (子どもが感じる割合) | 授業が楽しい (子どもが感じる割合)

学習意欲の低下傾向 (子どもが感じる割合) | 学習意欲の向上傾向 (子どもが感じる割合)

学習意欲の低下傾向 (子どもが感じる割合) | 学習意欲の向上傾向 (子どもが感じる割合)

学習意欲の低下傾向 (子どもが感じる割合) | 学習意欲の向上傾向 (子どもが感じる割合)

10

日本家庭科教育学会  
The Japan Association of Home Economics Education

### With/Postコロナ社会における教育の現状と課題

3. 意欲の変化と学習方法の理解や授業の楽しさ、進路(将来)を深く考える経験との関連が見られる。(参照図3)

■図3 学習意欲の変化に関連する要因

2019年→21年の変化

学習意欲の低下傾向 (子どもが感じる割合) | 学習意欲の向上傾向 (子どもが感じる割合)

4. 授業ではデジタル機器の利用が増え、探究的な学びが回復傾向(参照図4)

・授業形態については、「パソコンやタブレットを使う」が2020年→21年にかけて大きく増加した20年に落ち込んでいた「グループで調べたり考えたりする」「テーマについて調べる」などの授業形態が回復しつつある。

11

日本家庭科教育学会  
The Japan Association of Home Economics Education

### With/Postコロナ社会における家庭科教育の役割

◆生活を豊かに、よりよい生活をめざして

◆コロナ禍において明らかになったこと

- ・当たり前の生活の大切さ
- ・家庭生活、家族の大切さ
- ・他者との関わり合い(共生)の大切さ
- ・安全・安心の大切さ
- ・学校教育(協働的な学び他)の大切さ

⇒家庭科教育において培いたい内容と重なる部分が多い。家庭科教育だからこそ培えるものが多い。

◆コロナ禍において学校教育に求められた・求められていること

- ・感染症対策と子どもたちの「学びの保障」
- ・いかなる状況でも学びを止めない
- ・新学習指導要領の目指す学びの実現 (主体的・対話的で深い学びの実現)
- ⇒ICT活用の充実、ギガスクール構想(一人一台端末)の実現
- ・次年度以降を見通した教育課程の編成
- ・家庭・保護者との連携
- ・子どもの学び応援サイト(文部科学省) [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/ikusei/gakusyushien/index\\_00001.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_00001.htm)

12

日本家庭科教育学会  
The Japan Association of Home Economics Education

## With/Postコロナ社会における家庭科教育の役割

◆コロナ以前の家庭科教育の役割  
日本家庭科教育学会特別研究委員会【家庭科未来プロジェクト】2016年度家庭生活に関わる意識や高等学校家庭科に関する全国調査

- 生活の科学的認識
- 生活に関わる技能・技術の習得
- 他者との協力、協働、共生
- 未来を見通した設計



⇒今後もこれらの学びは引き続き必要となる

◆With/Postコロナ社会における家庭科の授業の実践

○実習の工夫

- 調理実習  
(新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～文科省より 感染症対策を講じてもなお感染リスクの高い学習活動として、児童生徒同士が近距離で活動する調理実習が挙げられている)
- 一人調理、分割クラス、昼休み時の録食、家庭での実施等
- 被服実習 (オンライン授業での家庭での実施)

○対話的授業の工夫

- マスク、フェイスシールドの着用
- 机の配置の工夫
- 文字による対話的活動

13

日本家庭科教育学会  
The Japan Association of Home Economics Education

## With/Postコロナ社会における家庭科教育の役割

◆生活を豊かに、よりよい生活をめざして

◆子どもの実態から  
(前誌：東京大学・ベネッセ調査)

- 学習意欲の低下傾向
- 学習方法の理解、授業の楽しさ、進路(将来)を深く考える経験が意欲の向上と関連がある

子ども自身が学び方を身につけたり、関心・意欲が高まるような授業を受けたり、自分の将来を深く考えるといった「学びの本質」にかかわる働きかけが重要

◆学びの格差の拡大

◆より求められる家庭科教育の視点

- SDGs(人権、環境、ジェンダー、多様性の尊重、共生、持続可能な社会の構築他)
- 成年年齢引き下げ(2022年4月-)に伴う教育(消費者教育 法教育、自立を促す教育他)
- 生活設計
- 生活文化の伝承・創造(地域学習、ものづくり他)
- ICT活用(一人一台端末の活用)

14

日本家庭科教育学会  
The Japan Association of Home Economics Education

## With/Postコロナ社会における家庭科教育の役割

◆生活を豊かに、よりよい生活をめざして

◆連携の重要性

□学校における連携の中心となる家庭科教育・家庭科教員

- 学校教育活動、他教科との連携
- 保護者との連携
- 地域との連携

□ネットワークの構築

- 学会レベルでの連携 生活科学系コンソーシアム、生活や学びのネットワーク等
- 産官学の連携 (大学と教育委員会・地方公共団体、大学と企業他) 教員養成・採用・研修の連携
- 個人的なネットワーク

15

日本家庭科教育学会  
The Japan Association of Home Economics Education

## 参考・引用文献

- 日本家庭科教育学会ホームページ <https://www.jahee.jp/>
- 子どもの学び応援サイト [https://www.mext.go.jp/a\\_menu/ikusei/gakusyushien/index\\_00001.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_00001.htm)
- 学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～(2022.4.1 Ver.8) 文科省 [https://www.mext.go.jp/content/20220404-mxt\\_kouhou01-000004520\\_01.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20220404-mxt_kouhou01-000004520_01.pdf)
- 教師不足に関する実態調査 文部科学省 (R4.1) [https://www.mext.go.jp/content/20220128-mxt\\_kyokujinzaio1-000020293-1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20220128-mxt_kyokujinzaio1-000020293-1.pdf)
- 免許外教科担任制度の在り方に関する調査研究協力者会議報告書 (H30) [https://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/shingi/toushin/-icsFiles/af/fieldfile/2018/09/20/1409427\\_001\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/-icsFiles/af/fieldfile/2018/09/20/1409427_001_1.pdf)
- 全日本技術家庭科研究会全国調査(H29) <http://www.gijyko.ne.jp/>
- 中学校において家庭科を担当している臨時免除状教員の意識と実態―普通免許状保有教員との比較から― 日景弥生、青木香保里、志村結美 日本家庭科教育学会誌 第60巻第3号(2017.10)
- 東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所 共同研究プロジェクト「子どもの生活と学びに関する親子調査2021」結果速報(2022) <https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400186362.pdf>
- 新型コロナウイルス感染症対策に伴う児童生徒の「学びの保障」のための学習指導について 文部科学省初等中等教育局教育課程課 [https://www.mext.go.jp/content/20200609-mxt\\_syotou1-0000007788\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20200609-mxt_syotou1-0000007788_1.pdf)
- 未来の生活をつくる 家庭科で育む生活リテラシー 日本家庭科教育学会編 明治図書(2016)

16